

石川県金沢城調査研究所環境行動計画

■ 取組方針

石川県金沢城調査研究所は、金沢城の学術的価値と特徴を明らかにし、その成果を全国に情報発信し、地域文化創造の拠点として、県民と一体となった保存と活用を図るとともに、我が国の近世城郭研究に資するため、

- ① 文献・絵画資料、遺構・遺物資料、伝統技術資料等の総合的な調査研究
 - ② 文献・絵画資料等の基礎データの整理・収集
 - ③ 金沢城に関する情報の発信
- 等の事業を行っています。

環境保全については、石川県職員に求められる最低限の知識の一つであり、当研究所に勤務する職員においては、率先垂範してこれに取り組む必要があるものと認識をしているところです。

このため、私たちは、当研究所の活動が環境負荷へ及ぼす影響が少なくなるよう、以下の行動に取り組むことといたします。

- 1 事業活動の中で省エネルギー化・省資源化を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- 2 一般廃棄物の排出量を把握しつつこれを抑制するとともに、再生利用(リサイクル)を推進しその有効利用を図ります。
- 3 資源(コピー用紙などの紙類)の再使用(リユース)等を推進し、使用量の削減を図ります。
- 4 事務用品の購入にあたっては、積極的にグリーン製品を採用します。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成22年12月28日

石川県金沢城調査研究所
所長 北垣 聡一郎

3 環境負荷低減の取組み

当研究所では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組みを設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次のとおりです。

目標一1	二酸化炭素の排出量を、平成 20・21 年度の 2 か年度平均(25,906kg-CO ₂)を基準として、平成 23 年度には概ね 95%(24610kg-CO ₂)以下に削減する。
具体的な取組み	① 冷房温度(28度)と暖房温度(20度)を厳守する。 ② 空調を必要な区域・時間に限定する。 ③ 昼休みの消灯、人のいないエリアの消灯を徹底する。 ④ パソコン・コピー機の節電機能を活用する。
目標一2	一般廃棄物の排出量を把握しつつ漸減に努めるとともに、紙類の再生利用を促進しリサイクル率の向上を図る。
具体的な取組み	① 毎日(閉庁日を除く)の一般廃棄物(可燃ごみ)排出量を、今後、正確に計量・記録する。 ② コピー用紙などの紙類のリサイクル排出量を、今後、正確に計量・記録する。 ③ シュレッダーの使用は機密書類に限定する。 ④ 封筒、ファイルなどは繰り返し使用する。
目標一3	コピー用紙の使用量を、平成 19~21 年度の 3 か年度平均(829kg)を基準として、平成 23 年度には概ね 95%(787kg)以下に削減する。
具体的な取組み	① 書類や資料の電子データ化を進め、メールや共有フォルダなどの活用を図る。 ② 両面印刷や両面コピーの徹底を図る。 ③ 使用済み用紙の裏面利用を図る。

目標一4	環境に配慮したOA機器、事務用品を使用する。
具体的な取組み	<p>① 事務用品の調達にあたっては、石川県リサイクル認定製品、エコマーク製品、グリーンマーク製品を優先して購入する。</p> <p>② 「石川県グリーン購入調達方針」を再度全職員に周知し、公的機関が率先して取り組まなければならない旨、認識の徹底を図る。</p>

4 環境行動計画の実施体制

3に掲げる「環境負荷低減の取組み」を推進するために、副所長を環境管理責任者とし、全職員が「具体的な取組み」を実行します。